

令和5年度 予算概要

当改良区は令和元年度に複式簿記を導入し、令和4年度からは新たな土地改良区会計基準に従って、予算編成を行っています。令和5年度は急激な電気料の上昇に対し、緊急的に財政調整基金を繰り入れて予算編成を行いました。

令和5年度収支予算は、総括で18億510万円、一般会計で17億7753万円です。一般会計で比較すると前年度の14億3525万円に対し、3億4228万円、24%の増となりました。

主な要因は、電力料高騰対策で1億3813万円の増、基幹ストマネや農村地域防災減災など団体営事業の採択増で1億2033万円の増、用排水路移設補償工事9900万円の増などです。

——予算編成の重点——

1. 事業展開

(1) 電力費高騰対策

揚排水機場維持管理費を8106万円、臨時ポンプ電力料を含む用水管理委員会維持管理費を325万円、環境用水導入事業維持管理費を53万円、浄化対策業務受託費を2387万円増額計上しました。親松排水機場維持管理費管理事業の負担金や、本部電気料に対しても、予算計上額を増額しています。

(2) 用排水施設の計画的な補修更新

年度別整備計画に基づき優先度の高いものから事業化しています。団体営基幹水利施設ストックマネジメント事業では、両川揚水機場の補修や、早通・清五郎上流1期・大測上流部・横越中流部の各排水路の補修工事に着手するため、事業費1億3388万円を計上しました。また次の改修候補となる新潟東部2期地区・亀田分水路・二本木排水機場の改修計画策定を行う農村地域防災減災事業に、4547万円を計上しました。

(3) 圃場整備事業

あらたに茅野山地区で事業を開始します。初年度は換地等

調整事業を103万円で実施します。

2. 事務運営

(1) 総代定数改正

総代定数を見直し経費の削減を図るとともに、現在の組合員数および農地面積に応じて、適正に定数配分を行いました。令和5年度の総代選挙から新定数を適用します。

一方、理事監事については、報酬の見直しを行いました。これにより、役員報酬全額は290万円程度の増額となっています。

また、事務所経費として、エレベーターの大規模補修を予定しています。

3. 収入計画

(1) 組合費賦課金等

令和5年度の賦課面積試算値は4133ヘクタール（前年度比約9ヘクタール減）となりました。高騰する電気料金に対しては財政調整基金を繰り入れて、賦課金を前年度同様に10アール当たり11,500円に据え置きました。

また、その他の収入計画は、今年度、区画整理事業からの分割納入が見込めるため、決済金6900万円、他目的使用料2860万円、払下げ4500万円としました。

財政調整基金からの繰り入れは、例年の事務費繰り入れのほか、電力料高騰対策の必要額を加え、約1億2千万円を繰り入れます。

以上のように今年度は、例年の必要な事業展開と事務運営のほか、電力料高騰対策を行ったうえで、賦課金の前年水準継続を図ったため、大きく基金繰入額を増やしています。今後の電力料の動向や行政による対策の動向を踏まえながら、可能な限りの節電・節水対策、事務経費軽減策を、年度を通じて検討してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 科目別総予算額

